



▶学校紹介動画



▶在校生・PTA・卒業生の方へ



▶お問合せ

福高Information

—福高からのお知らせ・広報

◀前 1 2 3 4 5 6 次▶

カテゴリ選択

50件 ▼

■ 2021/07/06 ■ ほげんだより7月

by 福知山高校管理者

保健だよりを更新しました！（画像を押すとPDFが開きます。）



11:33

■ 2021/06/28 ■ 高校1年生みらい学Ⅰ「ぐるぐる読書会」

by 福知山高校管理者

探究学習を進めるうえで今後たくさんの書籍に触れる必要があります。そのため6月のみらい学Ⅰでは、講座を2クラスに分け、2週に渡って「ぐるぐる読書会」を実施しました。

ぐるぐる読書会とは、精読を目的とせず、他人の視点を取り入れながら、書籍から短時間で多くの情報を得る読み方を学ぶ手法です。今回は、関連テーマに基づいた書籍を事前に各自が1冊準備をし、数分の時間でおおよその内容を読み取りました。その後、書籍をグループで回しながら、他の人の書籍を短時間で目を通しながら疑問を出し合い、出された疑問に対して、書籍から解答を見つけ出しました。わずか数分しかないなか、目的をもって書籍を読むので、体験してみると脳内が目まぐるしく回転し、関連ワードを検索している感覚が分かります。今回行った読み方を今後の探究学習で生かしてほしいと思います。



13:22

■ 2021/06/28 ■ 吹奏楽部「第13回てるてるコンサート」

by 福知山高校管理者

6月20日（日）午後2時よりてるてるコンサートを開演しました。てるてるコンサートは6月のジメっとした梅雨時期を音楽で吹き飛ばそうと地域の方々を開催している吹奏楽部の恒例の演奏会です。昨年度は、コロナ感染症が拡大したため中止としましたが、今年度は何としても演奏を届けたいという強い思いを持って企画し、オンラインでの開催に至りました。

演奏楽曲は、「ジャパニーズ・グラフィティⅫ～銀河鉄道999・宇宙戦艦ヤマト～」、「マードックからの最後の手紙」、「スターファンタジー」、「あいうえおんがく」とアンコール曲として「故郷の空 in Swing」を演奏しました。カメラ越しでどのように合奏が届いたか分からない不安もありましたが、吹奏楽部部員一同心をこめて演奏やダンスをお届けしました。今後は、8月7日（土）に京都府吹奏楽コンクールに向けて一層練習に励んでいきます。ネット配信でご覧いただいた皆様ありがとうございました。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



13:01

■ 2021/06/28 ■ 知的好奇心をくすぐる講座が満載！土曜講座始まる

  | by 福知山高校管理者

6月19日（土）に土曜講座を実施しました。土曜講座では、普段の授業では実施が難しい内容（より発展的な内容、基礎補充、実験・実習、フィールドワーク等）を補う講座等を開講し、生徒個人が自ら講座を選択して、主体に学ぶ機会を設けています。

今回の土曜講座では、英検対策や、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員の方から、考古学について講義、電気回路を自分で考え組み立て、可変抵抗を用いながら発光ダイオードを光らせたり、やオルゴールを鳴らせたりする実験など、5講座で合わせて100名以上の参加がありました。次回は、7月10日（土）に予定しています。生徒のみなさんは、引き続き積極的に参加し、主体的で深い学びを体感しましょう。



12:56

■ 2021/06/25 ■ 国際理解プログラム「JICA国際協力出前講座」

by 福知山高校管理者

6月16日（水）附属中1年生から高校3年生までの希望者を対象に、国際理解プログラム「JICA国際協力出前講座」を実施しました。青年海外協力隊として西アフリカのベナン共和国で小学校教員として勤務され、現在はジョージアの日本大使館でODA（政府開発援助）事業に携わっておられる西口記子さんにオンラインで、講義をしていただきました。ベナン共和国やジョージアの様子を写真や動画を用いて説明していただきました。講演終了後は、生徒から数多くの質問があり、その1つひとつに丁寧に答えいただきました。国際協力の第一線で活躍されている方からお話を伺う、非常に貴重な機会となりました。

[生徒の感想より]

- ・現地にあるものを使って、運動会や図工の授業をしていたことが印象的でした。私が想像していたのは、日本から物資を供給して行っている様子でした。私が今ベナンでそういうことを計画するのだったら、そうしていました。しかし、大切なのは現地の人の文化や経験をちゃんと知り、支援がなくても現地の人のだけで実施できるようにすることだということがわかりました。私は今まで国際協力をするとはその国にない特別な物資を発展途上国の人々に提供することだと思っていましたが、今日の講義を受けて、現地にあるものでなんとかやっていくことや現地の人と協力して行うということが大切であることがわかりました。

- ・国際理解は相手をよく知って、同じ目線で考えることが不可欠だということを認識した。難しいことだが、意識したいと思う。今後の学びの中で、途上国を含めたグローバル化、国際理解がどうあるべきかを考えたいと思う。



14:49

■ 2021/06/25 ■ 英語ディベート交流会 with 鳥羽高校&嵯峨野高校（オンライン）

by 福知山高校管理者

6月19日（土）本校と鳥羽高校及び嵯峨野高校をオンラインで結んで、京都式英語ディベートの交流会を行いました。本校からは1チーム（3名）が参加し、まずディベートのルールや作法を学んでから、2ラウンドの実践を行いました。「日本の高校は文化祭を廃止すべきだ」「18歳以下のSNSの使用は禁止すべきだ」といったモーション（議題）に対して、それぞれGovernment（肯定側）とOpposition（否定側）の

6月16日(水)に希望者を対象に実施される国際理解プログラム『JICA国際協力出前講座』に向けて、事前学習会を行いました。国際協力機構(JICA)や青年海外協力隊について、また講師の方の派遣国であった西アフリカ・ベナン共和国についてなど、生徒たち自身が積極的に調査し、ポスターに内容をまとめました。お互いに発表し合うことで情報を共有しました。講師の方の仕事や派遣国について事前に学習したことで、生徒は出前講座当日がさらに楽しみになった様子でした。



08:06

■ 2021/06/11 ■ 高校3年生 「家庭基礎」の授業について

by 福知山高校管理者

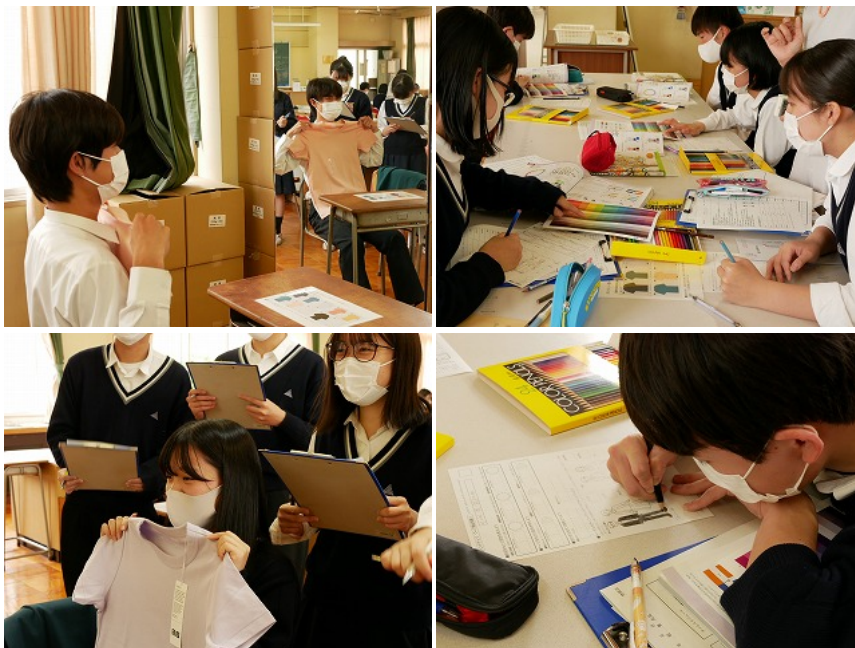
5月18日～28日の高校3年生家庭基礎は「自分らしい装いを楽しむ」という単元の内容と関わり、「自分らしい色を探そう」というテーマで学習をしました。グループに分かれ、あらかじめ準備された10色のTシャツをひとりずつ顔に当てて、相互評価を行いました。実際に顔に当ててみることで、似合う色、似合わない色があることや、自分が普段着たことのない色が似合うことが分かるなど、多くの気づきがありました。

「色の似合う、似合わないがこんなにもはっきりするものだとは知りびっくりした。」

「色によって顔の印象がかなり変わると思った。」

「友だちに似合うと言われた色を取り入れてみたい。」

などの感想がみられました。黒や白を好んで着る高校生が多いですが、これを機会に自分に合う色を取り入れ、自分らしい装いを楽しんでほしいと思います。



15:32

■ 2021/06/11 ■ 高校1年生「地域連携キャリア講演会」

by 福知山高校管理者

6月10日（木）6、7時間目に福知山市役所や長田野工業団地に工場を置く企業で働く4人の方によるキャリア講演会を実施しました。本校に来校していただく予定でしたが、緊急事態宣言が延長されたため、新型コロナ感染防止のためリモートでの開催となりました。講演会は、2部構成で行われ、前半は、担当の方より、企業の紹介やご自身のキャリア形成を振り返って、それぞれの視点から高校生に向けてアドバイスをいただきました。後半は、普通科の4クラスに対してそれぞれ1つの企業の担当者とのフリートークの時間を設けました。「高校生のうちは、自分の好きという感性や面白いと思えることを磨いていって欲しい。」「日々の生活の中で自分の適性を知ることが大切です。」など高校生の立場に沿った的確な助言を多くしていただきました。普段あまり接することのない社会人の方から直接お話を聞くことができた貴重な機会でした。

今後高校1年生は、文理選択を決定していくなど、将来を見据えたキャリア形成を進めていきます。今回のキャリア講演会で学んだことも参考にしながら、自分の将来に向かって着実に一歩を踏み出して行くことを期待しています。

今回協力していただいた方々

エスベック（株）様、（株）神戸製鋼所様、ヤマウチ（株）様、福知山市役所様（講演実施順）



15:15

■ 2021/06/07 ■ 令和3年度 PTA総会資料

  | by 福知山高校管理者

[令和3年度 PTA総会資料はこちら](#)

13:29

■ 2021/06/04 ■ 各運動部がインターハイ京都府予選に参加します。

  | by 福知山高校管理者

6月4日（金）から始まる第74回京都府高等学校陸上競技対校選手権大会に陸上競技部が出場します。選手たちは昨日午後、本校を保護者や本校職員に見送られ元気に出発しました。また、5日（土）より、卓球部と女子バレーボール部、ソフトテニス部がそれぞれ京都府大会に出場します。バドミントン部は団体戦が12日（土）に行われます。3年生にとっては最後の大会になる人も多くいます。これまでの練習の成果を十分に発揮し、大いに健闘することを願っています。



17:33

■ 2021/05/17 ■ 5月8日（土）の午後に、WWLスマートAP（第2回）に参加しました。

  | by 福知山高校管理者

京都府教育委員会の事業として実施されているWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）の府立高校共通履修科目である「スマートAP」第2回に、登録している2年生6名が参加しました。

本来なら拠点校の鳥羽高校の生徒の皆さんと協働できるチャンスでしたが、緊急事態宣言下のためオンラインによる実施となりました。

今回は、京都橘大学経済学部准教授の乾明紀先生に、主に研究テーマの設定の仕方について、実践を交えながら講義をしていただきました。映像をとおして、また鳥羽高校の生徒さんの発表も聴きながら、多くの刺激を受けることができました。

ドキュメンタリー映画を見て感じた課題について話し合い、さらに8月の第6回でリサーチエスションに落とし込めるよう、生徒達は3人1組でこれから時間を見つけて相談し、図書やインターネットを用いて自分たちが考えようとしているテーマについての基礎知識や現状・課題などについて調査や情報収集をしています。

<生徒の振り返り（一部）>

・映画を見て、自分の視野の狭さを痛感しました。世界のどこかでこんなにも残酷な状況が続いており、改善されていないということ・・・。
知っていたところもありますが、正直なところ私にとっては他人事であり、今自分自身が何となく幸せに生活しているので、同情などせず利己的に生きてきたように思います。しかしファストファッションに関する問題は、あってはならないことです。幸せの裏には不幸があるという言葉があるように、すべての人が幸せに過ごせる世の中が現時点で存在しないことにもどかしい気持ちになりました。



13:23

■ 2021/05/17 ■ 今年も「アンネのバラ」がきれいな花を咲かせました。

| by 福知山高校管理者

本館横に植えられている「アンネのバラ」が見頃を迎え、生徒や教職員の目を楽しませています。

アンネのバラとは...「アンネの日記」に感動したベルギーのバラ育種家デフォルタ氏が、アンネの精神を永遠に語り継ぐために作り出した新品種のバラです。1976年に綾部市の高校教員であった山室隆一氏が1本のアンネのバラを託され、全国へ送る活動を開始されました。その後、息子の建治氏が活動を受け継ぎ、福知山高校へは2016年に送られました。生徒会で受け継ぎ、大切に育てています。



12:47

■ 2021/05/13 ■ 文理科学科「みらい学Ⅱ」特別講義

| by 福知山高校管理者

昨年度のみらい学Ⅰで研究の進め方について学び、地域課題を主なテーマとして取り組んできた新2年生が、いよいよ自分たちの興味関心に
応じてテーマを設定し、研究活動を行います。

今回の特別講義では、国立大学法人神戸大学バイオシグナル総合研究センターの今石浩正教授に、「大学における研究の意義」という演題
で、講義をしていただきました。コロナ禍におけるオンライン講義となりましたが、海外経験のお話や、プレゼンテーションで気を付けるべき
こと、すべての人に正しく伝える文章の書き方など、写真や具体例を交えて分かりやすく講義していただきました。生徒にとって、とても新鮮
な内容で新しい発見が多く、感想には昨年度の研究活動の振り返りや、今後の研究活動に生かすこと等を感想に書いていました。

<生徒の感想（一部）>

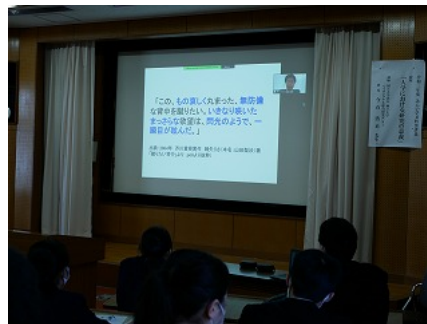
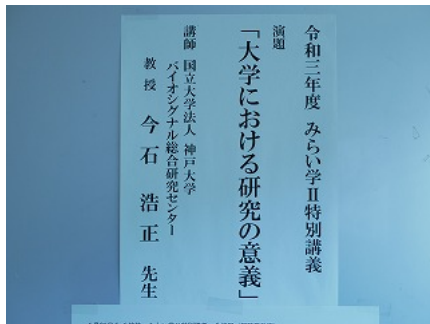
文章を書くときに、「確実に相手に伝わる」ようにと意識したことはほとんどなかったので、こんなに当たり前のことを気遣っていなかった
ことに気づき、ショックを受けました。

文をより簡潔に書こうとする癖をつけたいです。「黒い目の綺麗な女の子」は驚くことに11通りもの捉え方がありましたが、私には3つしか

分かりませんでした。これは発想力というより客観的に見る力の方が必要とされているのではないかと思います。

常識にとらわれずに物事を考えるため、本をたくさん読んでいろんなパーツを集めようと思います。先生のおっしゃったように、知らなければ分からないし進まない。けれど、知りすぎると限界を感じ発想力が衰える、このバランスが難しいな、と思いました。

日本で女性の研究者が少ないということが、もったいないなと思いました。海外の人たちが異なる考えを持っているのと同じように、女性は男性と異なる観点から見て、異なる考えを持っている可能性があるからです。いろいろな考えを共有するためにも、女性の研究者が増えるといいなと思います。



08:26

2021/05/10 ■ みらい学Ⅰ 特別講義

by 福知山高校管理者

5月6日(木) 3、4時間目に福知山公立大学地域経営学部准教授の杉岡秀紀先生より、「探究活動と地域課題研究」をテーマに特別講義をしていただきました。緊急事態宣言下、コロナ感染防止対策を徹底しリモートにて開催しましたが、杉岡先生の熱心な語りは会場中にひびひしと伝わりました。勉強と探究の違いとは何か、テーマ設定のポイントとして置くべきことは何か、安易にインターネットに頼るのではなく、進んで現地に足を踏み入れ、直に課題を把握したり、解決方法を練ったりすることが大切であることなど、総合的な探究の時間をどのように捉え、進めていくのか、これから本格的に始まる課題研究をよりよいものにするために必要なエッセンスを時間いっぱいご教授いただきました。



14:22

2021/05/07 ■ ほけんだより<5月号>

by 福知山高校管理者



2021/04/27 「スマートAP」第1回に参加しました（WWL）

by 福知山高校管理者

WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業令和3年度府立高校共通履修科目「スマートAP」第1回に参加しました。

4月25日(日) WWL「スマートAP」の初回が実施され、本校から受講希望の2年生6名が参加しました。

本来はWWL拠点校の鳥羽高校を会場として実施する予定でしたが、コロナウィルス感染拡大のため、本校と鳥羽高校、福知山公立大学、大阪大谷大学をオンラインで接続して行いました。

講義は「課題研究の意義、問いの立て方」として、午前は杉岡秀紀先生(福知山公立大学地域経営学部 准教授)、午後は江上直樹先生(大阪大谷大学教育学部 講師)の講義を受講しました。

<生徒の感想より>

- ・ 1年間探究活動をしてきて、問いを立てるのが一番大変だったけど、今回の講義を聴いて、良い問いというのは「誰もがふと思いつくような問い(考え)」のことだと学べました。でもそこに至るまでにやはりある程度の知識は必要なので、興味のある情報をしっかりと集めて深く考えていきたいです。また1人で考えるのも大切だけど、それをグループワークで共有することでより深くなることを再認識しました。

- ・ 今までの生活の中で、自分と異なる意見に出会ったときにどうしても排他的になってしまうことがあった。しかし今日の講義を受けてみて、異なる2つの事象があるときに溝があるから避けるのではなく、その中でも共通点を見つけることが大切であると分かった。だからこれからはまずは相手の話や意見を丁寧に聴いて、共通点をもとに課題への道を拓いていきたい。

<スマートAPとは?>

土曜日に計7回、大学の先生方によるリレー講義をしていただき、大学レベルの探究に必要なリサーチスキルを学ぶとともに、グローバル人材の基盤となる論理的・批判的な思考力と多文化協働力を育みます。プログラムを良好に修了した人は、府教育委員会が受講証明書発行するとともに、高校の単位を認定します。府立高校の共通履修科目で、他校の仲間とも学校の枠を超えて学び合うことで意識が高まり、交流の輪が広がります。その成果も踏まえ、京都府 WWL高校生サミット(2月開催予定)に参加します。本校では、昨年度末に希望調査を行って登録した6名が参加しています。



2021/04/27 図書館オリエンテーションを行いました！

by 福知山高校管理者

4月19日(月)から23日(金)にかけて、附属中1年生と高校1年生を対象に、学校図書館司書の川上綾先生による「図書館オリエンテーション」を行いました。川上先生からは図書館の使い方や仕組み、分類法についての説明があり、「なぜ読書をするのか」ということについても考えることができました。最後には全員1冊本を借りる時間がありました。最初の1冊をどれにするか。じっくり考えたり、直感で選んだりと様々な表情を見せてくれた1年生たちでした。これからも読書の時間をとって、自分の世界を広げてほしいと思います。



13:27

■ 2021/04/19 ■ 文理科学科1年生 総合的な探究の時間「みらい学Ⅰ」 ガイダンス

by 福知山高校管理者

4月15日(木)4時間目に多目的教室にて文理科学科1年生の総合的な探究の時間「みらい学Ⅰ」の授業がスタートしました。みらい学Ⅰを担当する先生の紹介やガイダンス、一緒に探究活動を進めていく5、6組の生徒たちの自己紹介を行いました。授業の開始時は、初めて接する先生や生徒たちに緊張している面持ちでしたが、自己紹介やグループ活動を進める中で、次第に緊張がとれ、笑顔がこぼれるなど和やかな雰囲気となりました。これから1年間、このメンバーで協働して探究活動を進めていきましょう。

次回みらい学Ⅰは、5月6日(木)に福知山公立大学より杉岡秀紀准教授をお招きし、特別講義をしていただきます。



09:25

■ 2021/04/19 ■ 2年生進路ガイダンス

by 福知山高校管理者

4月13日(火)、高校2年生を対象に進路ガイダンスが行われました。教務部からは、新年度の開始にあたり、授業に対する心構えや自分自身のやりたいことととことん取り組むことの大切さについての話がありました。

また、進路指導部からは「全国の入試状況及び昨年度3年生の進路結果」をテーマに入試制度の説明や進路実現に向けての心構えについて卒業生の体験談を用いての話がありました。

本日聞いた話を心に留め、2年生としての良いスタートを切ってほしいと思います。



09:22 | 進路関係

2021/04/13 令和3年度入学式

by 福知山高校管理者

4月9日（金）に本校・分校・附属中学校合わせての入学式が行われました。宮下校長の式辞では「勉学・自律・敬愛」という本校の校訓が新入生に紹介されるとともに、入学生の今後に対する期待を込めた話がありました。

250名の新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。これから始まる高校生活をぜひ楽しんでください。





15:28

■ 2021/04/12 ■ 1学期始業式

by 福知山高校管理者

4月8日（木）令和3年度1学期の始業式が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、放送での実施となりました。校長からは『人生に夢があるのではなく、夢が人生を作る。自分がやりたいことを強く思い、努力し続けることで実現する。5 K力を磨き、自らの未来を切り拓いてほしい。』というお話がありました。教務部長からは『自分の中の多様性に目を向けて、様々なことに挑戦し、自分の幅をどんどん広げてほしい。』というお話がありました。

充実した1学期にしていきたいと思います。





10:25

■ 2021/04/09 ■ ほけんだより<4月スタート号>

by 福知山高校管理者

ほけんだよりを更新しました<クリックするとPDFが開きます>



18:27 | ほけんだより

■ 2021/03/16 ■ 2年 進路講演会 (河合塾)

by 福知山高校管理者

3月11日(木)に河合塾より講師をお迎えし、2年生を対象に進路講演会を行いました。入試の最新情報を知り第一志望を明確にすること、授業の受け方を見直す等受験生としてスタートダッシュを切るために必要なことについての丁寧な説明を受けました。受験生への第一歩である春休みを直前に控え、学習計画の立て方など日々の過ごし方を考えるよい機会となりました。自分の目指す目標が達成できるように、今を大切に頑張ってくださいと思います。



2021/03/16 ■ 「アジア高校生架け橋プロジェクト」 留学生が帰国しました

by 福知山高校管理者

11月からアジア高校生架け橋プロジェクトで来日し、2年生と一緒に勉強したり、学校行事に参加したりしていたベトナム人のアンさんが帰国することになり、クラスでお別れ会をしました。残念なことに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で来日が遅くなったため、およそ4ヶ月間の留学体験でしたが、交流を通し友人として互いのことを認め合い、異文化理解を深めることができました。今回生まれたアンさんと福知山高校生との友情が、ベトナムとの友好の種になり、これから大きく成長することを期待しています。

アンさん、またいつか再会できるのを楽しみにしています。お元気で！

[アンさんのお別れの挨拶より抜粋]

毎日、日本人の生徒と授業を受け、日本語のみならず他の科目も大変な達しました。私の留学期間は短く、4ヶ月しかないながら、自分の成長を感じました。全部が私の忘れられない思い出になりました。いつも一緒にいてくれた友達、たくさん助けてくれたクラスのみんな、ありがとうございました。

[本校生徒の感想より]

アンちゃんとの交流は、自分にとってとても貴重な経験でした。私自身、ベトナムについてあまり詳しくなかったのですが、ベトナムの産業や文化などいろいろなことを教えてもらいました。同時に「私なら日本についてこんなに詳しく説明できないな」と、自分が自国に対していかに無関心だったかを強く実感しました。もっと日本のことを勉強して、次は自分が外国の方々に伝えられるようにになりたいと思います。この経験を通して、自分の視野を大きく広げられたように感じます。この機会に学んだことをこれから生かしていけるようにしたいです。



11:25

2021/03/16 ■ 福高グローバル・リーダーシップ・プログラム語学研修

by 福知山高校管理者

3月10日、11日の2日間にわたって、文理科学科1年生を対象に福高グローバル・リーダーシップ・プログラム語学研修を行いました。13人ずつの少人数グループに分かれ、外国人講師の方に教えていただきながら、2日間で合計10時間、オールイングリッシュで異文化について学び、ディスカッションのスキルを学んだり、最後には福知山のお気に入りの場所や福知山ならではのものについてプレゼンテーションをしました。アメリカ、イギリス、カナダ、ジャマイカ、フィリピンと様々な国籍の講師の方々がおられ、コロナ禍で外国の方と直接交流する機会が得にくい中であって、多様な文化について知り、英語でのコミュニケーションを実践する貴重な機会となりました。

生徒も

「こんなに長い間英語だけで過ごすのは初めての体験で、疲れたけどすごく楽しかった」

「1日目は聞くことにずっと集中していないといけなかったけど、2日目には英語を聞くことが自然に感じてきた」

と、英語での国際交流の楽しさと2日間の研修の成果を実感したようでした。





11:18

2021/03/11 京都工芸繊維大学地域創生Tech Program説明会

by 福知山高校管理者

3月9日（火）「京都工芸繊維大学地域創生Tech Program説明会」を実施し、高校1・2年生の22名が参加しました。京都工芸繊維大学の教職員の方々や学生の皆さんをお招きして、大学生活やカリキュラム、大学での学びの魅力や入試対策などについて詳しい説明をしていただきました。

来ていただいた大学生のなかには本校の卒業生もいて、現役の高校生たちに対して丁寧に話をさせていただきました。大学4年間で様々な経験をされ、「さすが大学生」と感じるプレゼンテーションでした。

全体説明会の後は座談会形式で交流する機会があり、高校生たちは熱心に質問をしていました。和やかな雰囲気の中、進路に対するモチベーションと、貴重な情報を得ることができました。

今後の学習や進路決定に大いに活かしてほしいと思います。京都工芸繊維大学の皆さん、ありがとうございました。



19:04

2021/03/04 みらい学Ⅰ「SDGs×地域課題研究」研究交流会

by 福知山高校管理者

2月24日（水）に文理科学科1年生の総合的な探究の時間「みらい学Ⅰ」研究交流会を実施しました。「SDGs×地域課題研究」と題して、2学期から地域課題をSDGsと関連づけて研究を進めてきましたが、その成果をスライドを用いたプレゼンテーションで交流しました。福知山市役所をはじめとした全国各地の市役所や研究機関、企業や団体に変なお世話になり、ここまで研究を進めることができました。また、福知山公立大学の杉岡准教授をはじめ、様々な方々に御指導・御助言をいただきました。この場を借りて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

〔発表タイトルの例〕

- ・福知山において、どうしたら多くの人に訪れてもらえる廃校活用ができるか
- ・福知山市民による、福知山市民の、福知山への関心を高める計画
- ・ふるさと納税における体験型返礼品の市町村への効果 ～キャンプブームを追って～
- ・庵我地区のよりよい避難訓練のかたち
- ・男性の育児休業取得率をあげるためにはどうすればよいか

〔生徒の感想より〕

- ・普段何気なく住んでいる福知山でも、視点を変えてみることによって様々な課題があるということを知りました。また、これから私たちがそれらの課題の解決に取り組むことや、社会に貢献しようと行動することの大切さを学びました。
- ・地域課題を解決することの大変さを学びました。解決のためのアイデアを考える段階で、実現可能なのかも含めたさまざまなことを考える必要があり、難しさを感じました。また、研究を進める上では、RQ（リサーチクエスト）から結論に繋げるプロセスもしっかりと伝えなければならないということを知りました。これからの研究では、根拠・例などを大切にしたいです。
- ・研究していく中で、普段の学校の勉強では得ることのできない知識を得ることができ、これからの社会に少しでも貢献することができたので良かったです。2年生のみらい学では、より積極的に学びを増やしていきたいと思いました。



17:36

2021/03/04 ■ みらい考Ⅰ 課題研究発表会

by 福知山高校管理者

普通科1年生4クラスを対象として、総合的な探究の時間「みらい考Ⅰ」の課題研究発表会を2月19日（金）に実施しました。グループで自分たちの身の回りにある多種多様な課題や疑問について研究し、ポスター発表形式で成果を発表しました。全員に発表する機会があり、発表前には緊張した面持ちの生徒もたくさん見られましたが、発表が終わった後には充実感に溢れた表情を見せてくれました。

今回の課題研究を通して「問いの立て方」「先行研究の調べ方」「実施計画の立て方」「実験や実習などの調査の進め方」「発表資料の作り方」「プレゼンテーションの仕方」など、課題研究の一連の作法を理解し、実践することができました。今回身につけた課題に向き合う姿勢や技能を生かし、来年度「みらい考Ⅱ」ではさらによい取組ができるよう、期待しています。

[研究テーマの例]

1組

- ・過去の地震対策から学ぶ命を守る地震対策とは
- ・ジェンダー平等を実現できる履歴書の性別欄

2組

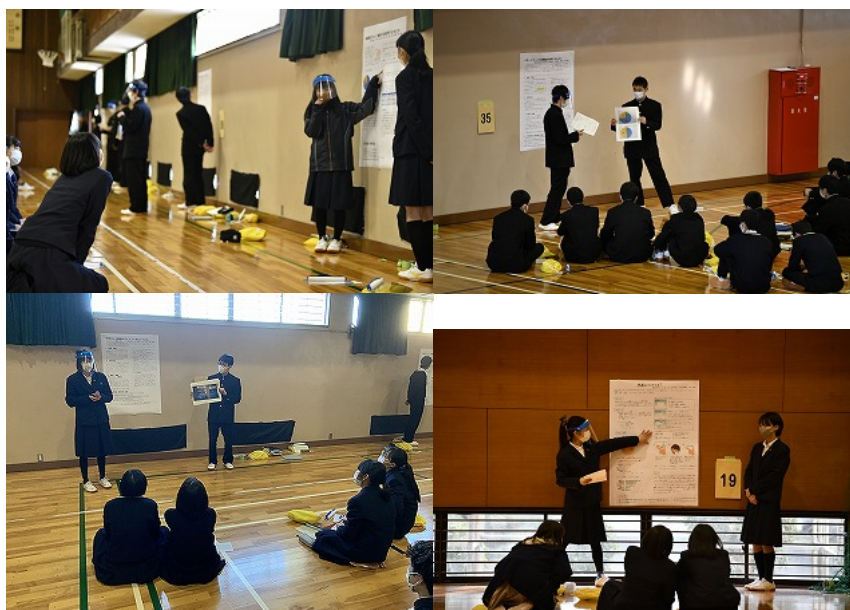
- ・福知山高校に足りないユニバーサルデザインは何か
- ・マスクの色が人に与える印象

3組

- ・食品ロスを無くすために ～野菜・果物の保存～
- ・レジ袋を有料化したことでどのような影響があったか

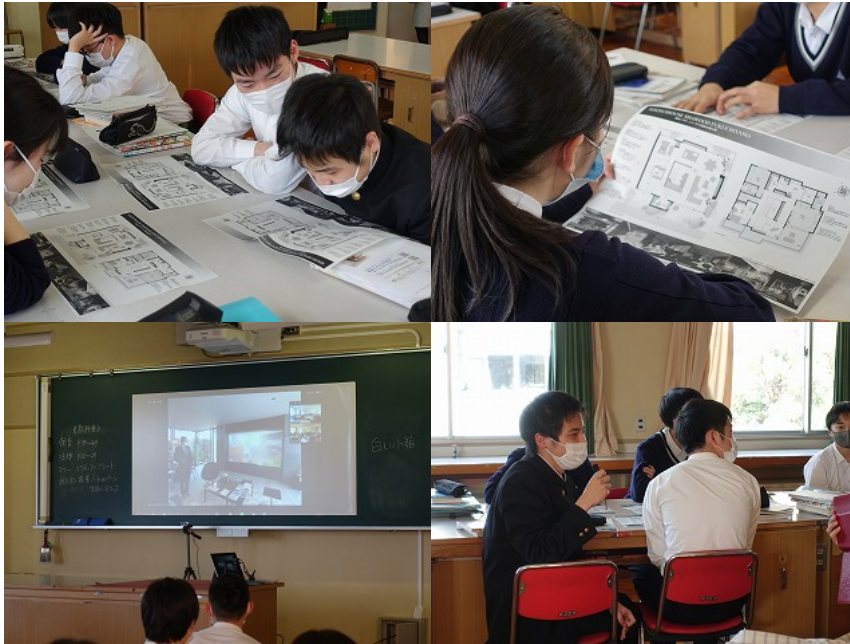
4組

- ・子どもが「育ちやすい」「育てやすい」町とは
- ・エアコンの消費電力を抑えるには？



17:30

2月25日(木)5時間目、ハウジングピア福知山内にある住宅展示場とZOOMでつなぎ、オンラインでの住宅展示場見学を行いました。手元の間取り図と、画面に映し出される建物を見比べながら、住宅メーカーの方に展示場内を案内していただきました。広い、きれい、便利といっただけでなく、今の時代に合わせた家づくりがされていることがわかりました。生徒から、環境への配慮や耐震についてなど積極的に質問も行いました。専門家の話を聞いて、その場で疑問に思ったことにすぐ答えていただくことができる双方向のやりとりから学びを深めることができました。



17:21

3月1日(月)令和2年度第73回卒業証書授与式が、保護者の皆様の御臨席のもと行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を卒業生・保護者・教職員に限定しての実施となりましたが、卒業生は整然と式に臨み、厳粛な卒業式となりました。249名(本校231名、分校18名)の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。福知山高校で培った力をこれからの人生に生かし、未来を切り開いていってくれることを期待しています。





14:57

2021/02/12 | 未来学へのご協力をお願い

by 福知山高校管理者

未来学へのご協力をお願い

全校生徒の皆様

第1学年未来学5班

梅のつぼみ膨らみ始め、春の兆しを感じる頃となりました。

さて、1年5・6組は、総合的な探究の時間「未来学」で班ごとに研究テーマを設定し、それぞれの班が探究、調査活動を行っています。私たちの班は、ネット媒体と紙媒体について、どちらがより情報を伝えやすいのかを調べています。学校に協力していただいて、福知山高校のホームページで伝えた情報がどれだけ行動に結びつくのかを調べることにしました。

つきましては、皆様に御協力していただきたいと思っています。

していただきたいこと：この内容を確認された後、質問スペース(100号館2階)前の渡り廊下に設置してある台紙の「ホームページを見てきた人」の欄にシールを貼ってください。なお、シールは台紙の近くの机に置いてあります。

ご協力お願いいたします。

12:34

2021/02/04 | 2・3月行事予定を更新しました

by 福知山高校管理者

[2・3月行事予定はこちら](#) (在校生・PTA・卒業生のページにおいてあります)

15:35

2021/02/03 | ほけんだより<2月号>

by 福知山高校管理者

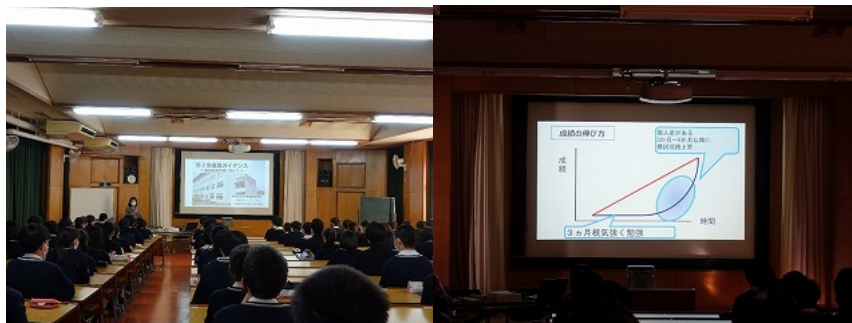
ほけんだよりを更新しました。(画像をクリックするとPDFが開きます。)



07:36 | ほけんだより

1月21日（木）、来年度共通テストに挑む高校2年生に向けて、進路指導部長の青木先生による進路ガイダンスを実施しました。初めての共通テストが終わり、今後共通テストで求められる力や今年の入試の特徴、今意識して取り組むこと等についてのお話がありました。高2の3学期は高3の0学期と考え、高2の今から意識を高めて頑張ること、基礎問題や授業を大切に取り組むこと、根気強く学習を続けることなど、具体的にどのように頑張ればよいかを改めて確認できる機会となりました。

自分の目指す目標が達成できるように、今を大切に頑張りたいと思います。



15:51 | 進路関係



本日のLHRで1月16・17日に行われる共通テストの激励会を放送で実施しました。

校長先生と3年学年部長の高見沢先生から「試験当日は緊張するのは当たり前であるが、これまで各自が目標に向けて勉強してきた日々を思い浮かべ、自信を持って受験すること」、「試験当日に自分の力が発揮できるように新型コロナウイルス感染症対策の徹底はもちろん、入試に合わせて体調を整えること」、そして「終わったことに思い悩むのではなく、切り替えて次の科目、次の試験に全力をつくすこと」など受験生としての大切な心構えの話がありました。

受験する福高生全員が力を発揮できることを教職員一同応援しています。



15:40

ほけんだよりを更新しました。（クリックするとPDFが開きます。）



08:55 | ほけんだより

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

2学期の終業式と同じく、各教室で放送により始業式を実施しました。校長先生からは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底することが自分を守り、それがみんなを守ることに繋がること、コロナが終息する先を見すえて将来の目標や夢を持ち、好奇心を持って物事に取り組むこと

の大切さについてのお話がありました。

生徒指導部長の谷口先生からは、人生をドラマに例えたお話があり、「今コツコツと努力することで将来花が開く。いい加減にしているとわぬしっぺ返しに来る」というメッセージがありました。

最後には、税の作文で入賞した中学3年生2名の紹介がありました。

3学期はあっという間に過ぎていきます。次の学年に上がる前に様々なことに挑戦してみましょう。



13:07

■ 2021/01/06 ■ ★文化財の鑑賞を通して教科横断的な学習を実施

| by 福知山高校管理者

10月27日(火)～30日(金)「平家物語図屏風(大英博物館所蔵)」の高精細複製品を文化財活用センターより借用し、芸術科、国語科、社会科で教科横断型授業を行いました。

高校2・3年生の芸術科の授業では、対話型鑑賞を行った後、平家琵琶や歌舞伎、平家物語に登場する人物が実際に書いた書などについて、音楽・書道の教員が講義を行いました。

国語科では、高校1年生全クラスが、それぞれ、「坂落」や「那須の与一」の原文と現代語訳を読み、平家物語について学んだ後、屏風を鑑賞しました。多くの生徒の平家物語への興味関心を引き出すことができました。

社会科では、日本史を選択している生徒が、対話型鑑賞をした後に、平安末期の院政について学びました。

教科横断型の授業により、生徒は知的好奇心を高め、様々な教科の内容を関連付けながら学ぶことで、学びが深まることを実感することができました。



金箔が光り輝く平家物語図屏風



近づいて鑑賞

以下に生徒の感想を掲載します。

高校2年（美術＋日本史）

実物を目の前にしながら歴史の話を聞くのはすごく頭の中でリンクさせやすく面白かった。あの屏風に描かれている内容も、描いた人とその時代も、あの屏風が今、日本にないことも、全部、歴史的事実になるから面白いと思った。作品の背景を知ろうと思えば、そこには必ず何かしらの歴史があるし、逆に、どの時代のどの場所にも必ずその時代に合った作品が存在している。美術を通して文化史を知るのは楽しいし、その先の日本史の勉強に繋がっていくのも楽しい。



高校1年国語 平家物語をききながら鑑賞

高校2年生（美術＋書道＋音楽）

昔の人は平家物語を、絵で見たり、聴いたりして、楽しんでたことがわかりました。書道の先生の説明から字の書き方によってその時代がどんな時代がわかることがおもしろいと思いました。絵だけでなく、音楽や書道などからもその時代の背景が見えてくるのが面白いと感じました。

高校1年（国語＋美術）

実際に平家物語を聞いてからもう一度屏風をよく見てみると、屏風の一部分一部分に物語があって、その人の状況や感情が重なって、屏風がすごくいきいきして見えました。ただ作品を見るだけでも美しいと感じることができるけど、その作品の背景や意味を考えることで面白さが増すんだなと思いました。今回この作品を見て、図書館に行って平家物語を読みたいと思いました。



高校2年生日本史 院政についての授業

13:10

2020/12/24 2学期終業式

by 福知山高校管理者

各教室で放送により実施しました。校長先生はコロナ禍における心構えや二学期の振り返り、冬休みの過ごし方について話され、「限られた状況下でもできることはある。先を見据えて今を行動してほしい」というメッセージがありました。進路指導部長の青木先生からは「スーパースターだけが成功者なのではなく、社会で貢献している人は全て成功者であり、上手くいかないこともあるけどよりよくしようと思っ



16:40

2020/12/23 ほけんだより<2学期末号>

by 福知山高校管理者

ほけんだよりを更新しました。(クリックするとPDFが開きます。)



10:00 | ほけんだより

2020/12/14 留学生がやってきた！Welcome to Fukuchiyama High School!

by 福知山高校管理者

本校は、アジア諸国で日本語を学ぶ高校生を招聘し、日本人高校生との国際交流を深めることを目的とした高校生国際交流促進事業「アジア高校生架け橋プロジェクト」に協力しており、11月16日(月)からベトナムからの留学生アンさんを迎えています。さっそくクラスメイトにも打ち解け、授業と一緒に受けています。新型コロナウイルスの影響で、留学期間が1年から約5ヶ月に短縮されてしまいましたが、互いに多くのことを学び合いながら、日本とベトナムの架け橋の礎となる友情を築いていけることを期待しています。

[留学生本人のコメント]

最初は違う国で違う環境で、不安もありましたが、先生たちが優しく教えてくれるし、クラスメイトのみんなもいっぱい助けてくれるし、素晴らしい毎日を過ごしています。

福知山高校で日本の教育を受けて、日本の学校ならではの雰囲気を感じて、自分にとって貴重な体験になっています。まだ知らないことやでき

ないことがたくさんあるので、みんなと一緒に経験したいと思います。



17:15

■ 2020/12/10 ■ みらい学Ⅰ「SDGs×地域課題研究」 中間交流会

by 福知山高校管理者

1年生文理科学科の総合的な探究の時間「みらい学Ⅰ」では「SDGs×地域課題研究」と題して、京都府北部地域の課題について知識を深め、解決策を提案することを目指して、探究活動を進めています。11月11日（水）には中間交流会を実施し、これまでの研究について発表し、意見交流を行う中で改善点に気づくなど、新たな視点を得ることができました。また、福知山公立大学の杉岡秀紀教授に専門的な立場から助言をいただくことができました。これからさらに研究が発展していくことが期待されます。

[研究テーマ・リサーチクエスションの例]

- ・イヌを利用してシカを追い払うことは実践可能か？
- ・福知山市における慢性期医療を必要とする患者を支える仕組みを提案する
- ・「城下町」福知山！―歴史ある福知山の魅力を市内の人と共有するにはどうすればいいか―
- ・福知山市に田んぼダムができることでどのような効果が生まれるか？
- ・男性の育児休業取得率を上げるためには何をすればいいか？



[生徒の感想より]

- ・グループそれぞれに個性があり、発表の仕方も、進み具合も、目に留めた観点も違い、聞いていてとても面白かったです。
- ・自分達の発表にリアルタイムで反応が返ってくるのは、緊張しましたが、楽しかったです。見落としていた課題点がいづか見つかって、これから活かそうで嬉しいです。
- ・自分たちでリサーチクエスションを立てて研究していくこと自体初めての経験で、疑問だらけだったけれど研究していくとパズルが完成するように前に進んでいると感ずることができ、様々な面においての成長にも繋がったと感じました。
- ・まだ、中間発表会の段階ではありますが、中学生のころとはまた違う、貴重な学びの機会になっていると思います。今回の発表で鋭い質問をたくさん受けて、課題も見つかりました。これを今後の活動にいかしていけるように、さらにグループで話し合いを深めたり、調べていこうと思います。



11:24

■ 2020/12/10 ■ クイーンズランド工科大学遠隔授業

by 福知山高校管理者

11月11日（水）オーストラリアのクイーンズランド工科大学と本校及び府立鳥羽高校をオンラインで結び、クイーンズランド工科大学の先生による遠隔授業を実施しました。グローバル社会で活躍するために必要な異文化理解や多文化共生について、英語での授業を通して学びました。難しい内容もありましたが、スライド資料や動画だけでなく、意見共有アプリやクイズ用アプリを使用することで、思考を深めることができました。また、外国を含む3つの会場を結んでの授業は、遠隔地にながら異なる都市や国の仲間とともに学ぶことができる近未来の教室を想像させる、わくわくするような体験でした。



11:19

■ 2020/12/10 ■ 国際理解教育講演会

by 福知山高校管理者

11月20日（金）福知山公立大学の渋谷節子教授を講師にお迎えして、2年生を対象の国際理解教育講演会「異文化理解と多文化共生」を実施しました。自分と異なる文化的背景を持つ人々と生活することがもたらす葛藤や面白さ、その違いを理解し、受容することの大切さを、渋谷先生が研究のためベトナムに滞在をしたときの経験を通して語っていただきました。また、講演終了後には中学校1年生から高校3年生までの希望者を対象に、渋谷先生を囲んで座談会を行いました。先生自身が外国等に行き驚かれた異文化体験やベトナムの教育についてなど、多岐にわたるテーマについて、とても丁寧教えていただきました。



[生徒の感想より]

- ・異文化交流が少し身近に感じられ、やってみようかなと思えるようになりました。自分の価値観や先入観を全くのゼロにして交流するのは難しいことかもしれませんが、それを押しつづけて、相手からすると普通のことかもしれないということを頭に置きながら、異文化交流をしに行きたいなと思います。
- ・先生がおっしゃっていた「好奇心」から全てが始まったって言うのがかっこいいと思うのと同時に、そんな理由でもいいんだとどこか親近感を覚えました。今はなかなか交流をしづらい状況ですが、難しく考えすぎず、いろんな人といろんな意見を交流し、考えを深めていきたいなと思いました。
- ・世界には自分が思うよりも多くの言語、生活、宗教、考え方があると知りました。自分の持つ価値観と違う価値観に出会ったときは、自分の価値観だけで判断せず、相手の価値観を理解した上で判断しようと思いました。当たり前のことには誰も疑問を覚えないと思うので、異文化交流の際はそれに注意したいと思いました。



11:11 | その他の諸活動

■ 2020/12/08 ■ 葉ボタン

by 福知山高校管理者

12/2（水）、福知山高校三和分校農業科の生徒が葉ボタンを本校の職員玄関前に植えてくれました。ぜひご覧ください。



11:17

2020/12/02 ぽけんだより<12月号>

by 福知山高校管理者

ぽけんだよりを更新しました。



16:56 | ぽけんだより

2020/11/11 短期大学・専門学校進学希望者説明会

by 福知山高校管理者

11月2日(月)に行いました1・2年生短期大学・専門学校進学希望者対象進路説明会に、16名の生徒が参加しました。生徒は自分の興味関心に応じてそれぞれのブースに移動し、熱心に話を聞いていました。今後の進路選択にいかしてほしいと思います。



17:02 | 進路関係

前 1 2 3 4 5 6 次 カテゴリ選択 50件



京都府立福知山高等学校

〒620-0857 京都府福知山市土師650
Tel. 0773-27-2151
Fax. 0773-27-2826
Mail. fukuchiyama-hs@kyoto-be.ne.jp

アクセスカウンター:R2.12.3~ 00344851

Powered by NetCommons2 The NetCommons Project